

ランブルストリップス技術講習会を開催

交通研究室

平成17年5月18日に、道路建設や維持管理等に携わる方を対象とした2回目となるランブルストリップス技術講習会を実施しました。

ランブルストリップスの正面衝突事故削減効果が確認され急速に普及していること、新しい規格が開発され今年度から実道への展開が予定されていることなどから、今回、当研究所構内における実演施工や乗車体験を含めた技術講習会を実施しました。

ランブルストリップスは、平成13年度に当研究所所有「苫小牧寒地試験道路」において試験施工を行った後、平成14年度には一般国道5号八雲町において初めて実道へ導入されました。それ以降、平成16年度末までに、北海道の国道における施工延長は約140kmに至っており、今年度だけでもさらに210kmの施工が予定されています。

今回の技術講習会には、約80名の道路関係者の方が参加されました。午前の部は、当研究所講堂にて、これまでの研究成果、施工方法および現在作成中のランブルストリップス整備ガイドライン（案）の説明を行いました。午後の部は、当研究所構内に施工機械を持ち込み、各種ランブルストリップスの実演施工や希望者による体験乗車も行いました。

今回の技術講習会では、参加者の方々から様々なご意見、ご質問等をいただき、ランブルストリップスの関心の高さを伺うことができました。

なお、今回の技術講習会で行いました実演施工や乗車体験の様子などについては、ランブルストリップスホームページ (<http://www2.ceri.go.jp/rumble/index.html>) に掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

(文責 高田 哲哉)



ランブルストリップス技術講習会の様子